



# 市政この一年

## 下鶴市政がスタートした 2021年を振り返ります

### 新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に取り組みました

体制強化を進めながら感染拡大防止対策を行いました



8月14日 市職員による呼び掛け

今年も新型コロナの影響は続き、8月には、全国的な爆発的感染拡大の中、本市でも過去最高の新規感染者数を確認し、国のまん延防止等重点措置も適用されました。

本市では、保健所への職員応援や医療機関との連携によるPCR検査体制の充実、市立病院のコロナ専用病床の増床など、迅速に体制強化を図って対応してきました。また、人の往来が多い夏休みなど時期を捉え、市長が先頭に立って若い世代などに感染症対策を呼び掛けました。

### 希望する全ての人へワクチン接種を進めました



2月からの医療従事者、4月からの高齢者施設入所者に続いて、5月26日には、65歳以上の人から本格的に接種を開始しました。

その後、年代ごとに段階的に予約受付を開始し、11月末をもって早期の接種を希望する人への接種を完了しました。

#### 主な取り組み

- 市内医療機関と集団接種会場での接種
- 保育所勤務者など、本市独自の優先接種
- 桜島地区保健センター・南部保健センターでの集団接種
- 妊婦への優先接種

### 事業継続や市民生活への支援に取り組みました



地域経済の回復に向けて、経済、医療など関係団体の皆さんと情報共有や意見交換を行う関係者会議を開催し、事業者の事業継続や雇用の維持を下支えする各種施策を実施しました。

また、市民生活への支援策として、育児応援金の支給や子ども食堂への助成などを行いました。

#### 主な取り組み

- 育児応援金支給事業
- 地域の飲食店子ども食堂プロジェクト補助金
- 家賃支援金事業 ○雇用維持支援金事業
- タクシー事業者及び自動車運転代行業者支援金事業
- プレミアムポイント事業
- 宿泊施設新観光ビジネス支援補助金

### 市民の皆さんの声を聞きながら 「第六次鹿児島市総合計画」の策定を進めました

2月21日 未来デザインフォーラム2021

「交流・産業」、「教育・子ども」など、6つのテーマごとにグループで意見交換を行い、本市のまちづくりを考えました。



3月20日 鹿児島市まちづくり若者会議

高校生から社会人までの多くの若者が参加。「働く」、「暮らす」など4つのテーマごとにグループに分かれ、活発な意見交換が行われました。



将来における本市のあるべき姿と進むべき方向の基本的な指針となる、新たな総合計画(令和4年度～)の策定に向け、市民との対話やパブリックコメントの実施、総合計画審議会の審議などを経て、9月1日に基本構想(議案)などを市議会に提出。市民の皆さんとともに策定を進めました。

### ICT(情報通信技術)を活用した市民生活の 向上を図りました

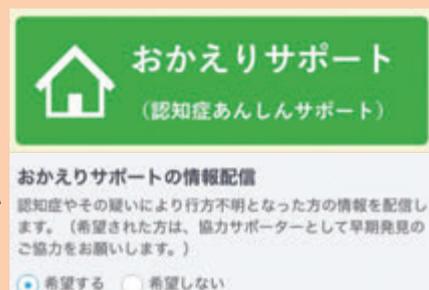
9月1日 電子版・母子健康手帳「まぐまっこアプリ」がスタート

予防接種の管理などがより簡単に行えます。子どもの成長の記録などを共有でき、家族みんなでの育児に役立ちます。



10月1日 「認知症おかえりサポートシステム」がスタート

市LINE公式アカウントを活用し、認知症やその疑いにより行方不明となった登録者の情報を協力サポーターに配信し、早期発見につなげます。



「デジタル化を積極的に進めています」



7月1日～  
窓口キャッシュレス決済



8月1日～  
スマホ24時間乗車券



10月1日  
CIO補佐官任命